

# 二入学もめてとらういいます

四月から一年生になる方々は次の通り一三六名です。みんな仲よく一生懸命勉強いたしましょう。

## 岩室小学校(西)

男子二名女子二名  
児童名 保護者

### 石瀨

井上 昇(勝)

渡辺エリ子(利雄)

棚橋 秀一(秀雄)

渡辺 伸子(昭二)

高橋 健一(六造)

岩淵 健一(竜雄)

小川 泉(昭三郎)

棚橋 里子(貢)

棚橋 弘美(勉)

渡辺 伸子(喜五郎)

棚橋 義則(桂雄)

本間 昇一(昇)

石田 昌美(茂夫)

藤田 克彦(孝一)

堀越 敏晴(榮夫)

田島 和子(隆夫)

本間 文子(清)

田中 隆人(千賀男)

小島 礼子(康一)

### 岩室

石崎 厚子(孝二)

岡崎 則子(三三)

和田 久美子(タマ)

岡崎 敏也(信雄)

本間 英樹(佐武郎)

大森 利美(利二郎)

村井 俊明(広之)

岡崎 しのぶ(政弘)

高島 朱実(淑)

### 總會

三富 政彦(八郎)

渡辺 正美(万蔵)

三富喜美子(光雄)

田中 明(三雄)

坪根 武夫(省三)

菅 未雄(里美)

反引 本間 久志(吉雄)

田子島 谷井千鶴子(浩二)

吹井 隆(男)

岩富 昭一(貢雄)

橋本 藤田 奨(光男)

藤村 幸枝(男)

本間 司(久雄)

久保田 堀沢 勢子(清)

藤ヶ瀬 高橋 清(鉄男)

岩室小学校(東)

男子一九名女子一四名

児童名 保護者

南谷内 和田 邦子(昭三)

武田 和子(儀三郎)

北野 山岸 正治(作英)

夏井 山上 枝美子(正栄)

川崎 美智雄(金光)

稲垣 一男(博)

遠藤 一雄(福太郎)

大岸 栄一(栄作)

山岸 栄一(栄一)

遠藤 智恵子(セツ)

### 西中

山上 春行(清門)

田中 紀代美(清吉)

山田 隆夫(隆)

山田 智恵子(武一)

佐藤 こづえ(仁央)

吉谷 修一(定)

木部 清和(広)

藤田 正春(正次)

齋藤 勝(栄)

齋藤 仁(政男)

白鳥 堀越喜美枝(徳治)

堀越喜与志(喜喜衛)

西長島 藤田 裕子(一成)

池田 学(博)

田原 貴美子(勉)

近藤 秀幸(秀信)

横會根 成田 春美(正衛)

新谷 伊藤 淳子(文夫)

五十嵐 良和(定一)

高畑 岡島 雅晴(二郎)

中村 操(一栄)

和納小学校

男子一九名女子一八名

児童名 保護者

早川 幸夫(財吉)

佐藤 栄(栄蔵)

海津 英夫(二郎)

### 三區

伊藤 和子(武雄)

早川 正一(一)

大塚 康子(昭三)

松本 真裕美(栄)

海津 榮美子(一也)

佐藤 瑞枝(幸男)

星野 学(一豊)

樋口 郁華(都)

木村 克己(庸一)

武田 洋一(究也)

高島 薫(良夫)

伊藤 隆行(一男)

田村 一義(ノキ)

古沢 明美(正三)

田中 勝美(弥作)

池上 ひとみ(栄三郎)

竹内 豊(保)

六區

小林 恵美子(芳信)

高橋 誠(克威)

伊藤 百合子(貢雄)

田中 みゆき(正勝)

七區

伊藤 幸子(長司)

山田 俊子(俊一)

加藤 良明(繁夫)

樋口 正行(清一)

八區

竹内 俊栄(正一)

相沢 功(長太)

谷沢 一美(正男)

相沢 いずみ(幸平)

原 大岩 寿美子(栄一)

### 津雲田

大岩 芳美(強)

本多 芳春(芳雄)

川上 敏子(敏夫)

大越 百合子(幸三郎)

高橋 間瀬小学校

男子三名女子一名

児童名 保護者

一區

竹井 芳男(サキ)

柏木 重成(成一)

鈴木 孝子(竜次)

阿部 良秋(竜蔵)

中村 清一(清三郎)

森田 増美(満)

田中 和男(条作)

三區

吉中 啓子(茂)

三角 晴代(タジヨ)

浜村 幸男(清一郎)

田中 昌章(要吉)

四區

田中 しのぶ(実)

高綱 茂美(シゲ)

中村 徳也(徳四)

高綱 綾子(武)

田中 靖(昭吾)

五區

早川 一也(鳴原ヨシ)

田中 洋子(孝)

五十嵐 ナナ子(善明)

秋元 克己(信雄)

七區

平井 俊雄(俊二)

本間 義晴(輪太郎)

本間 春美(竹雄)

竹内 美奈子(哲雄)

## 四町村合同 青少年研修会

郡公民館連絡協議会と岩室・弥彦・吉田・分水各公民館共催の、第五回四町村青少年合同研修会は、去る二月二十七日、八日、五十名の青年男女が参加して、弥彦軒で開催された。 激しく変化する社会に対処できる青年となるために、自分たちの生活と意見について考え、話し合おうというのがそのねらいであった。 講師として、県教育庁から山田沖哉、宮川善三郎両社会教育主事を迎え、山田講師からは「県内青年の現況と団体活動」について、宮川講師からは「青年団の生い立ちとこれからの集団活動」について講義があった。本年度県外研修生として、兵庫県へ派遣された分水町の渡辺秀夫君、岡山県で研修した弥彦村の水沢幸子さんの研修報告を聞いた後、三つのグループに分れて話し合いがなされた。 グループ討議では、 1、農業の将来への不安と期待、 2、出稼き問題、 3、生活環境の変化による交友関係の変動と青年団の問題、 4、不安定な生活が、結婚も困難にしている問題、 5、年代の差からくる、ものの考え方、見方のずれなどが取り上げられ、活発な話し合いがなされた。 個人の趣味や興味は同好グループで、青年全体の問題や地域共通の問題は、青年団ですすめるような方向で、これからの青年の集団活動を考えよう。 そして若さを正しく燃焼させるために、若者が手を取り合うことが必要だと確認された有意義な研修会であった。

### 第三回 村民登山大会

公民館、山岳会、青年団の共催により残雪期の粟ヶ岳(標高一、二九二・七米)の日帰りの村民登山を実施いたします。 参加希望者は二十日までには公民館宛連絡下さい。 行程表をさしあげます。 期日 四月二十五日 集合場所 和納駅前 六時三十分迄に集合 携行品 雨具・中食 経費 二六〇円 参加者には参加賞をさしあげます。

### あとがき

彼岸を過ぎて荒れ狂った天候もようやくおさまりましたが、火の気には充分ご注意下さい。(福田)

## 新入学(園) 児童・幼児を交通事故から守りましょう